



小島貞二生誕百年記念展

多彩な世界

小島貞二の多彩な世界

立派な相模と
いなかが好きで
もって好き

観覧無料



六六六六六六
六六六六六六
六六六六六六
六六六六六六

漫画「異人」掲載
70年代から発表された漫画雑誌の歴史をたどる、七人の

2019年 7月20日(土) ~ 9月22日(日)

市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature

休 暇 日：月曜日(8月12日、9月16日は開館)
7月31日、8月13日、9月17日
開 館 時 間：10:00~19:30(土日祝は18:00)
※入室は開館の30分前まで
主 催：市川市
特別協力：小島豊英

小島貞二生誕百年記念展

小島貞二の多彩な世界



2019年7月20日(土) ~ 9月22日(日)

演芸・相模評論家として活躍した小島貞二は1947年より亡くなる2003年まで市川市で暮らしました。力士、相模記者、雑誌編集者、放送作家、演芸評論家……。
小島が取り組んだ仕事は多岐にわたります。
本展は生誕百年を記念して、市に寄贈された小島コレクションの中から白筆原稿や相模に関係する資料を紹介し、小島の生涯をたどります。
「寄席と相模と日本が好きで 生きているのはもっと好き」と語った、小島の多彩な世界をお楽しみください。



1971年夏 寄席
白筆原稿 小島豊英
ラジオ東京放送局制作 小島コレクション



小島の月見帽子(黒)

小島 貞二(にじま ていじ)
1949年愛知県豊橋市生まれ。
旧何員中中学卒業後、演劇家を目指し上京するが、身長六尺の長身を見込まれ1938年に比治郎部屋へ入門。力士横筆、雑誌「寄世界」の編集部を経て、戦後「スクリーン・ステージ」「東京日日新聞」の記者となる。その後、フリーとなり、放送作家、相模・演芸関係のライターとして活躍した。
主な著書は『わたしのフンダン人生』『あるフンダンつかつぎ一代記』『力士富蔵』上・下巻、編著は『はなしの土俵』『びんぼう自慢』『定本・艶笑落語』など。

開催イベント

■ワークショップ「ぶんぶん独楽をつくってみよう」

夏休みの自由工作にも最適♪市川こども館や市川市考古博物館でもちやくつりの講師を務める阿部先生のワークショップです。
この糸とペットボトルを使って昔懐かしい「ぶんぶん独楽」を作ります！
・日時：7月28日(日)13:30~16:00
・講師：阿部幸一
・会場：生涯学習センター3階 第2研習室
・要電話申込(先着：30名)、無料、持ち物(ハサミ、筆記用具)

■学芸員によるギャラリートーク

・日時：8月10日(土)、8月31日(土) 14:00~
・会場：企画展示室

要電話申込

申込不要



古今亭菊之丞

■大演芸会

落語、講談、大江戸玉すだれとバラエティーに富んだ演芸会です。
観て、聞いて、日本の伝統芸能を身近にお楽しみください！
開催後、小島豊英氏(小島貞二・長男)らによるトークショーもあります。
・日時：9月7日(土)14:00~16:30(開場は開演時間の30分前より)
・出演：古今亭菊之丞(落語)、田辺鶴造(講談)、佃川英也一門(大江戸玉すだれ)
・会場：生涯学習センター3階 グリーンスタジオ
・往復八万半申込(定員：220名)、無料

申込締切日
8月2日(金)必着

申込方法

締切日までに往復ハガキに、参加者名(2名まで漢名可)、代表者の氏名・住所・電話番号を明記の上、「市川市文学ミュージアム大演芸会」までご郵送ください。返信用にも代表者の氏名・住所をご記入ください。定員数を超え場合は抽選となります。結果は締切後、翌朝ハガキでお知らせします。
※締切日までに到着しなかった場合や記入に不備があった場合は無効となりますのでご注意ください。

市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature



【開館】おむすび
9:27~09:15 千原重太郎(肉店番)1~4
9:30~10:00 市川市立文学センター(中央図書館)2階
TEL:047-320-3334 FAX:047-320-3356
http://www.city.ichikawa.lg.jp/liter/

【アクセス】
【JR東武線】本八幡駅、下町中心部より徒歩15分
【京成線】新小島駅より徒歩20分
【京成線】尾張浦駅より徒歩10分
【有】新島線 新島駅(バス停)より徒歩5分
※開館前日の午後5時、休館日の前日午後10時迄の受付となります。

